

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県いすみ市

本事業の担当部局名 子育て支援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
個別事業名	いすみ市エンジョイ・スローライフ事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成29年度	
総事業費(A)(円)	312,550		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	312,550	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	312,550							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	216,000	0	96,550	0	
	対象経費支出予定額	0	0	216,000	0	96,550	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	0	0	0	0		312,550	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0		312,550	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 本市では、いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略の子育て支援の基本目標実現のため施策を進めているが、少子化の現状は深刻で大きな課題となっている。 若者の流出の増加、晩婚化の進行等による未婚率の上昇及び出生率の低下が少子化の原因と言われ、少子化が様々な局面において計り知れない大きな影響を与えている。 これまでも婚活事業等を実施してきたが、婚姻数や出生率が上昇しない現状であり、この状況が続くと労働力人口は減少し経済成長にも影響をもたらす市民の生活水準に大きな影響を及ぼすことになり深刻な問題である。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; いすみ市では、子育て支援を重点施策としており、&lt;1.結婚支援 2.いきいきと子育てできる環境の構築 3.人間性とたくましさを感じてもらう。&gt;を掲げている。本個別事業は【2】に位置づけられる。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	エンジョイ・スローライフ	休日(半日)を家族と共に子育て支援センターでゆったりと過ごす。 保護者が子どもと一緒に楽しめる体操や工作、畑等を利用した野菜作りを実施する。 スタッフとして保育士を配置しているため、育児で気になることがある場合は、育児相談を行える。また一緒に体験活動を行う地域の方や子育て経験者などへの相談も行える体制を整えることで、子育てに温かい地域であると感じてもらおう。					
	2							
	3							
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt; ・本事業は子育ての孤独という課題を解決するため、子育てをしやすい環境を整備することを目的としている。特に、母親への育児負担の軽減となるよう、父親が気軽に参加できるようにすることが課題である。 ・父親が参加しやすい行事の実施、例えば体力づくりを目的とした運動等の機会を設ける等、幅広い行事を実施できるよう地域人材を発掘することが必要である。 ・リピーターが多い傾向にあるため、どのような雰囲気イベントであるかをHPに掲載したり、新規の利用者増加のため周知の強化が必要である。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	いずみ市は子育てしやすいと感じる者の割合 / (エンジョイ・スローライフの参加者の内)子育てしやすいと感じる者の人数 / (エンジョイ・スローライフの)参加者の人数		%	90 (R8年度)	82 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			0.99 (R6年)	
	婚姻件数		件	66 (R6年)	
	婚姻率			1.9 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	参加者親子(ひと月当たり5組10人~20人)	%	100 (令和8年度)	75 (R6年度)
	②	参加する地域の方の人数(ひと月当たり3人)	%	100 (令和8年度)	100 (R6年度)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	子育てに温かい地域であると感じた参加者の割合	%	100 (令和8年度)	82 (R6年度)
	⑤	「子育てに対する理解が高まった」と感じた参加者の割合	%	100 (令和8年度)	82 (R6年度)
⑥	男性の参加者	%	80 (令和8年度)	24 (R6年度)	
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県いすみ市

本事業の担当部局名 子育て支援課

事業メニュー	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム					
区分	一般コース					
関連事業メニュー	4.1 結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム(一般コース)					
個別事業名	いすみ市結婚新生活支援事業			新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	平成29年度	
総事業費(A)(円)	1,800,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	1,800,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,800,000					
費用内訳(円)	個別事業の内容のとおり					
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 本市では、いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略の子育て支援の基本目標実現のため施策を進めているが、少子化の現状は深刻で大きな課題となっている。 若者の流出の増加、晩婚化の進行等による未婚率の上昇及び出生率の低下が少子化の原因と言われ、少子化が様々な局面において計り知れない大きな影響を与えている。 これまでも婚活事業等を実施してきたが、婚姻数や出生率が上昇しない現状であり、この状況が続くと労働力人口は減少し経済成長にも影響をもたらす市民の生活水準に大きな影響を及ぼすことになり深刻な問題である。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; いすみ市では、「いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定めている「子育て支援」の基本目標を実現するため、結婚支援を含め、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を進めているところである。 重点課題として「結婚に伴う経済的負担の軽減の取り組み」を行うこととしている。</p>					
個別事業の内容	1. 概要					
	【対象費用】					
	<input type="checkbox"/>	住宅取得費用	<input type="checkbox"/>	住宅リフォーム費用	<input checked="" type="checkbox"/>	住宅賃借費用
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	引越費用
	【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載					
	所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満			
		自治体独自基準				
	年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯			
		自治体独自基準				
	【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載					
29歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円				
	自治体独自基準					
39歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円				
	自治体独自基準					
【その他独自要件】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>世帯の全員に市町村民税に滞納がないこと。</li> <li>世帯の全員がいすみ市暴力団排除条例(平成24年いすみ市条例第1号)に規定する暴力団員でないこと。</li> </ul>						

2. 申請見込

①新規世帯見込 

3	世帯		
上記のうち	ともに29歳以下	3	世帯
	その他	0	世帯

②継続補助世帯見込 

0	世帯
---	----

  
(継続補助規定の有無) 

無
---

【世帯数積算根拠】

・申請見込については、令和5年度の当事業における支給実績を引用。

(参考)

【令和7年度申請状況】 

実施中		
申請世帯数見込	7	世帯
～12月(実績)	4	世帯
1月～3月(見込)	3	世帯

【金額積算根拠】

<上限額>

(29歳以下)	3	世帯	×	600,000	円	=	1,800,000	円
(その他)	0	世帯	×	300,000	円	=	0	円
				(継続補助)			0	円
				合計			1,800,000	円

<左記の上限額の合計を使用しない場合の積算>

3. 広報の実施予定

- ・広報いすみへ掲載(5月号・10月号・1月号)
- ・千葉県及び市のホームページへ掲載
- ・各庁舎でチラシの配布、掲示

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		いすみ市は子育てしやすいと感じる者の割合 / (エンジョイ・スローライフの参加者の内)子育てしやすいと感じる者の人数 / (エンジョイ・スローライフの)参加者の人数		%	90 (R8年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率		-	0.99 (R6年)	
	婚姻件数		件	66 (R6年)	
	婚姻率		-	1.9 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	支給世帯実績 / 支給見込世帯数の割合	%	100 (R8年度)	100 (R6年度)
	(アウトカム)				
	①	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	100 (R8年度)	0 (R6年度)
②	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	100 (R8年度)	100 (R6年度)	